

2021年 7月8日

パラ系アラミドのライフサイクルにおけるCO₂排出量を削減

帝人グループでアラミド事業を展開するテイジン・アラミドB.V.（オランダ・アーネム市）が、パラ系アラミド「トワロン」のライフサイクルにおけるCO₂排出量を、2014年対比で約30%削減しました。

これは、外部団体によるISO規格14040および14044に則した最新のライフサイクルアセスメント(LCA)調査により示されたもので、テイジン・アラミドが長年にわたり、「トワロン」のライフサイクルにおける持続可能性、生産工程の改善、100%再生可能電力への移行などに注力してきた成果です。

【「トワロン」1kgの生産工程におけるCO₂排出量】（原料重合から出荷まで）

単位：kg-CO₂/kg

	2021年	2012年～2014年 (平均値)
平均的な「トワロン」糸（加工糸を含む）	8.7	12.2
平均的な「トワロン」パルプ	8.8	12.9

*欧州委員会が気候変動の影響を判断するために定めている「EU製品環境フットプリント」(PEF)バージョン2.0の環境影響カテゴリに基づいて算出。

テイジン・アラミドは、2011年より環境配慮や経済価値における顧客利益向上のための独自の手法「Customer Benefit Model(CBM)」(*)を用いることにより、「トワロン」を使用した顧客製品においても環境負荷が低減することを示してきました。また、最近では、さらなる環境負荷低減に向けてグリーンエネルギーの活用を強化することとし、欧州エネルギー証明制度(EES)の一環であるエネルギーの属性証明(GO)を取得し、風力エネルギーの使用を開始しました。これにより2021年内には、オランダ国内の生産拠点における総電力消費量を、全てグリーンエネルギーで賄うことが可能となる見込みです。さらに、「トワロン」の物理的、化学的、機械的なりサイクルの拡大にも注力しており、使用済み製品を回収するための新たな物流システムの構築にも取り組んでいます。

(*) Customer Benefit Model(CBM)：

「トワロン」使用による、環境への影響や経済価値などの顧客利益を定量化するためのテイジン・アラミド独自の換算システム。

テイジン・アラミドは、今後もエネルギー消費量の削減、グリーンエネルギーの導入、リサイクル技術の向上など、持続可能な循環型社会の実現に向けた事業戦略をさらに強化し、帝人グループとして、2050年度までにCO₂排出量を実質ゼロとすること、および長期ビジョンである「未来の社会を支える会社」になることを目指していきます。

以上

【 当件に関するお問合せ先 】

帝人株式会社 コーポレートコミュニケーション部 TEL: (03) 3506-4055